

市民の皆様から頂いた意見、提案等についての回答（まちづくり集会・市若者会議・その他）

※ 皆様から頂きました、意見等に対する今後の対応について、回答しています。
 ※ 計画の位置づけ項目の、「総合戦略(27年度中策定)・「第6次総合計画(28年度中策定予定)」の欄に○印があるものについては、反映する予定です。
 ※ 計画の位置づけ項目の、「公助・共助・自助」については、施策、事業を実行する場合に、誰が主体的に取り組むか示したものです。
 ※ 皆様から頂いた、ご意見について、緊急性、効率性、有効性等の観点で整理しました。ご意見等を否定するものではありませんので、ご理解よろしく申し上げます。

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
市若者会議	日田に縁のある有名人を活用して市外へアピール（漫画家諫山氏、アナウンサー江藤氏、ゴールデンボンバー）	本市に縁のある著名な方々には、「日田市観光親善大使」等に就任いただき、それぞれの協力可能な範囲で日田市のPRやイベント参加等を行っていただいています。平成28年度から、これらの方々の更なる活用も含めて、日田市の認知度やイメージの向上を図るシティセールスを強化していきます。	<公助> 取り組んでいる	—	○	観光課 企画課
市若者会議	豆田・隈町で着物をテーマに通年を通して楽しむ（着物無料着付け・着物で散策で無料写真撮影）	現在、民間の事業として取り組む動きがあるため民間への働きかけを行います。	<自助> 働きかけを行う	—	○	観光課
市若者会議	ひな祭りコスプレパレード+ライブイベント（観光協会へ提案）	まつり事業の検討を行う中で、取り組める事から実施していきます。	<共助> 検討する	—	—	観光課
市若者会議	ご当地アイドル（年代を問わず）日田美人による観光ガイド（観光協会へ提案）	観光協会が、ガイドの育成事業を行っています。いただいたご意見は、今後の観光ガイドの募集・育成の参考とさせていただきます。	<共助> 検討する	—	—	観光課
市若者会議	車で来た旅行者でお酒の魅力を伝え、飲食してもらい宿泊者の増加を狙う	本市では、日本酒や焼酎、ビール等多様なお酒の生産が行われており、本市の魅力の一つともなっていますので、観光誘客宣伝事業の中で日田のお酒の魅力等も伝えていきます。	実施しない	—	○	観光課
市若者会議	オルレをしながら、日田のフルコース料理を味わう（観光協会へ提案）	観光協会事業の中で、着地型観光の造成事業として検討します。	<共助> 検討する	—	○	観光課
市若者会議	「宿題撲滅ツアー（もののけ姫体験）」として、小学生をターゲットに、勉強と地域資源を活用した活動で着地型観光（観光協会へ提案）	地域資源を活用した着地型観光の造成は、観光協会の事業の中で検討します。	実施しない	—	—	観光課
市若者会議	今の母子手帳をリニューアルし、日田にちなんだ物にする	母子健康手帳については、法改正に伴う内容変更が毎年12月頃通知があり、その後に市独自で作成すると、4月交付に間に合わなくなる可能性があります。また、市の子育て支援サービス事業についても、年度毎に追加や見直しがあります。以上のことから、母子健康手帳については、現状どおり、既存のものを活用することが妥当だと考えます。	<公助> 実施しない	—	—	健康保険課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
市若者会議	地域にある集落公民館で地域の高齢者が子供を預かる仕組みを作る	市の事業として、ファミリー・サポート・センター事業を実施しており、ご提案のしくみづくりについては、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	<公助> 実施しない	—	—	こども未来室
市若者会議	ファミリーサポート制度の見直し。数回会った、話したでは子供を預ける事は難しいことから、日ごろから顔が見える関係を構築する。	ファミリー・サポート・センター事業を安心して利用できるように、会員相互間の信頼関係の構築を図る取り組みを検討します。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	—	○	こども未来室
市若者会議	子育てに関するポータルサイトを立ち上げ、子育てサポートの仕組みを分かりやすくする。（検診情報、入所手続き、支援策等々）	28年度より、「子育て支援モバイルサービス」が開始されることから、その中で子育て情報を配信していきます。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	—	○	こども未来室 健康保険課
市若者会議	出生届け（市に住所がある方）が提出されたら、木製の命名書を贈呈	林業振興課が予定しております、市民アンケートなどを実施し、その結果などから、木に触れ合う場の提供を検討します。	<公助> 検討する	—	—	企画課
市若者会議	出生届け（市に住所がある方）が提出されたら、「出生BOX」を贈呈（中身は出産後に必要な物を）※フィンランドの取り組みを参考 また、日田ならではの物で「出生BOX」を作り、出産お祝い品として販売する。	「出生BOX」については、出生祝い金と同様と考えられることから、関係部署と必要性も含めて検討します。	<公助> 検討する	—	—	こども未来室
市若者会議	雨天時でも子どもが遊べる場所を整備する。（既存の公共施設や空きビル等をリノベーションで）	子どもの遊べる場所として、児童館などの児童厚生施設を整備しているところですが、ご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	<公助> 取り組んでいる	—	—	こども未来室
市若者会議	日本酒・ビール・焼酎が揃うお酒のまち日田のPR	観光協会と連携し、蔵開きなどの情報発信に取り組んでいます。来年度開催の全国産業観光フォーラム等シティセールスを通じて全国に情報発信していきます。	<共助> 取り組んでいる	—	○	商工労政課 観光課 企画課
市若者会議	ツーリング客や団体客をターゲットにして取り組む。 ・ガソリン価格の安価をPRし、市内で給油した方に市内で使える食事券贈呈 ・日田に来る団体客の情報を、旅館組合、商店街など様々な所でシェアし、市民と一緒に、おもてなしと経済の相乗効果を図る。	事業者や団体の自主的な活動の中で可能であり、商店街や観光協会、旅館組合などに働きかけを行います。	<自助> 働きかけを行う	—	○	商工労政課 観光課
市若者会議	主婦や大学生をターゲットに期間限定で起業してもらおう。空き店舗の活用など、トライアル起業制度をつくる。	中心商店街において試験的に店舗を開設する場合、家賃の2分の1以内で月額5万円を限度とする家賃補助制度を既に運用しています。（最長6ヶ月間）	<共助> 取り組んでいる	○	—	商工労政課
市若者会議	子育て世代が働きやすい環境整備として、育児休暇や子どもの病気など急な対応ができる環境整備が必要なため、市内企業へ啓発活動が必要。	ワーク・ライフ・バランスの推進のため、ハローワーク等との連携を図りながら、市内事業主や管理職を対象とした講習会の開催や、啓発活動に今後も取り組んでいきます。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	商工労政課
市若者会議	国のトライアル雇用制度を市独自で上乗し期間延長	国の制度の上乗せ措置については、実施することで、国の制度を受けられなくなる可能性があるため行いません。正規雇用の促進につながるように関係機関と連携しながら啓発活動に取り組めます。	<公助> 実施しない	—	—	商工労政課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
市若者会議	起業する際の行政手続き等の手引きを作成する。または手続きの代行。	28年度より、既に事業を営んでいる方や創業を考えている方が、経営や創業に関する悩みを気軽に相談でき、経営基盤の安定強化や創業の促進を図ることを目的に中小企業支援センターを設置します。 また、起業する際の行政手続き等は中小企業庁、中小企業基盤機構等のホームページに掲載されているので、本市のホームページからわかりやすく閲覧できるよう改めます。また、商工労政課に創業相談窓口を設けているので、相談者に手引き等をプリントアウトしたものを差し上げます。起業する際の手続きの代行は行いませんが、起業の際に必要な書類等の作成については関係機関と連携しながら支援します。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	—	○	商工労政課
市若者会議	「温泉 i n 天ヶ瀬」市内の居酒屋が温泉街に出張（露天風呂の活用）	出展希望者がいれば商工会へと話をつなぎ、開業の支援を行います。	<自助> 働きかけを行う	—	○	商工労政課
市若者会議	「ウォーキングスタンプラリー」スタンプをためて、市内で愛用できるクーポンの発行	健康づくりや特定健診等の受診への動機付けを行うため、市内で利用できる商品券と交換できるヘルスケアポイントを付与する取り組みを実施します。 また、商店街等活性化支援事業を活用し、市内の商店街でスタンプラリーに取り組んでいます。	<公助> 新規事業	—	○	健康保険課 商工労政課
市若者会議	日田市に思い入れを持ってもらうために、農林業（杉、梨、スイカなど）の土地のオーナーになってもらい、植林や収穫等の季節イベントの開催。	今後も、農業法人や集落等と連携した都市住民との農業体験等の交流イベントの促進や市民参加の森づくり大会など、地域間交流を図っていきます。オーナー制度等のご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	—	○	農業振興課 林業振興課
市若者会議	主な公共施設に電子看板（小型）を設置し、情報発信をする。	情報発信は、広報やホームページ、フェイスブック、ケーブルTVなど既存の媒体で対応します。	<公助> 実施しない	—	—	情報統計課
市若者会議	インターネットを活用して、日田で開催される男女が出会えるイベント情報をリアルタイムで情報発信をする。	男女が出会えるイベントの開催やその情報発信については、「出会いの場」を創出する協議会等で検討します。	<公助> 検討する	○	—	企画課
市若者会議	市民等が自由にお勧めや穴場などさまざまな情報を投稿できるサイトを立ち上げる	日田市公式フェイスブックでは双方向の運用は行っていません。民間主体による開設と運営に期待しています。	<共助> 実施しない	—	—	情報統計課
その他	生涯現役健康大長寿のまちづくり	生活習慣病予防のため、栄養・食生活では、食生活改善推進員の育成と地域への伝達研修を実施し、食育の推進と減塩・バランス食などの食生活改善の推進を図っています。また、運動については、平成25年度からウォーキング・スロージョギングやステップ運動の普及に取り組んでおり、今後も引き続き実施し健康寿命の延伸を目指します。	<共助> 取り組んでいる	○	—	健康保険課
その他	紙媒体、WEBサイト、SNS、映像等の情報技術の進化の中で、効果的な情報運用をおこなうための広報戦略の策定を、市民や専門家とともに行う。	第6次総合計画の中で検討していきます。	<共助> 検討する	—	○	情報統計課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
その他	生涯現役健康大長寿のまちづくり	地域包括ケアシステムを積極的に進めていくために、平成28年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始します。 総合事業により、地域の多様な主体が、高齢者の介護予防及び生活支援のサービスについて取り組み、高齢者の自立の促進や重度化予防を推進するとともに、地域の支えあい体制づくりに参画できるまちづくりに取り組んでいきます。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	長寿福祉課
その他	結婚・出産祝いとしてプレミアム商品券の支給	プレミアム商品券の支給については、考えていません。	<公助> 実施しない	—	—	こども未来室
その他	中小企業への無料アドバイザー派遣、育休復帰支援	県が就業規則の作成や変更についてアドバイスを行う「就業規則アドバイス事業」を27年度より新たに開始しています。 市では、28年度より、既に事業を営んでいる方や創業を考えている方が、経営や創業に関する悩みを気軽に相談でき、経営基盤の安定強化や創業の促進を図ることを目的に中小企業支援センターを設置します。 また、仕事と生活の調和であるワーク・ライフ・バランスの推進を図ることとして、子育て支援の充実や、企業側の率先した取り組みを促進するための講演会の開催、就業規則の策定義務の無い事業者が、新たに育児・介護休業等を盛り込んだ就業規則を設ける場合の支援等に取り組む予定です。	<公助> 新規事業	○	—	商工労政課
その他	地元高校生の地元就職の支援策（地元企業への助成制度）の強化	高校生を対象とした地元企業の説明会「ひた・くす合同企業説明会」の開催やハローワークと連携した企業情報の発信等により地元就職を推進します。	<自助> 働きかけを行う	—	—	商工労政課
その他	年3回、ひなまつり、祇園、天領まつりの時期は、市長、市議会議員、市役所職員は下駄を履いて着物を着て仕事をし、市民も広く協力しましょう、	下駄については執務室内に限り商工観光部門で使用した実績はありますことから、更に、日田の伝統的特産品等を活用した取組を進めます。	実施しない	—	—	総務課
その他	ふる里の日の制定を（イベントを含め、ふる里の日を日田市から制定してはどうか）	新たに「ふる里の日」を設ける予定はありませんが、市民の皆さんのふるさとを思う心が高まるよう、現在、取り組んでおります、コミュニティ活動の活性化、ふるさと納税制度及び次代を担う子どもたちの郷土を愛する心を育むふるさと教育の推進等につつまして、充実を図ってまいりたいと考えております。	<共助> 取り組んでいる	—	—	総務課
出前意見交換	放課後児童クラブの運営方法は今の仕組みでいいのか。責任の所在場所も明確ではないし、預かる人員体制もきついのではないか。公民館運営事業団で対応することは考えられないか。縦割りで進めるのではなく、横の連携が必要。小学校1～2年生の壁がある。	放課後児童クラブの運営方法については、市が設置し、保護者を主体とした運営委員会が運営を行う形態のほか、NPO法人が運営する方法など各自治体で様々ですが、今後の運営方法については検討していきます。 また、支援員の配置については、基準どおりに配置しています。	<公助> 既存事業見直し	○	—	こども未来室

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
出前意見交換	人と人の繋がり、強いコミュニティー作りが必要。時間がかかる取組みだが、それが行える場所の整備も必要である	現在、NPOが協議や作業のために使用している市民活動室（ポポロ）を協議の場として提供することができます。また、NPO同士の連携を図るとともに、地域に潜在している人材の発掘と育成ができるよう、現在、実施しているNPO育成事業を継続します。また、安心して快適に暮らせる地域をつくるため、新しい公共を担う住民自治組織の設立を予定しています。	<公助> 取り組んでいる	—	○	地域振興課 市民活動推進課
出前意見交換 若者連絡	新たに起業する人（市内や市外からの移住者、回帰者）に支援をすることは考えられないか。期限を定め、チャレンジする人、事業に積極的な投資をする。	創業に必要な経営・財務・販路開拓・人材育成の知識を習得した創業者を支援する融資制度の拡充等を図ります。	<公助> 取り組んでいる （既存事業見直し）	○	—	商工労政課
出前意見交換	「仕事が日田にないから帰ってこれない」との考えは間違っているのではないか。現にハローワークからは多くの求人情報がでている。そのミスマッチを考え対策をするべきでは。	日田の企業情報を一覧で紹介するWebページ開設を検討するとともに、日田市人材バンクへの登録へと導き、求職者への情報発信を行います。	<公助> 検討する	○	—	商工労政課
出前意見交換	市営住宅の払下げ	公営住宅の払い下げについては、国の用途廃止基準に基づき可能となっておりますが、譲渡処分については条件があります。（耐用年限の1/4を経過した場合等（木造住宅(30年)、但し、戸別ではなく、団地単位となる）。	<公助> 取り組んでいる	○	—	建築住宅課
出前意見交換	周辺地域の支援住宅の家賃基準の見直し	公営住宅は住宅に困窮する定額所得者に対して賃貸を行うもので、家賃は法により入居者の所得等にに応じて決定されています。家賃は民間と比較しても安い家賃となっております。	<公助> 実施しない	—	—	建築住宅課
まちづくり集会	制度を柔軟にし、各小中学校を特徴的な学校として、選択して通学できるシステムの構築	各小・中学校で、地域の特性を活かした教育課程を編成し、地域の方の協力を得ながら、魅力ある学校づくりを行っていますが、学校の選択については、通学区域の拡大による通学時間が長くなるなど、児童生徒の体力・精神面での負担が大きくなることから現段階では実施しません。	<公助> 実施しない	—	—	学校教育課
まちづくり集会	ユニバーサルデザインツーリズムの観光開発	観光誘客宣伝事業を展開する中で、ユニバ-サル-リズ-ムについても検討を行います。	<共助> 検討する			観光課
まちづくり集会	日田の地域資源を活用したPRの強化	地域資源の活用を含めて、シティセールスの強化を図り、情報発信に努めます。	<公助> 新規事業	○	—	企画課
まちづくり集会	婚活ファシリテータ養成講座により、おせっかい人を作る	「出会いの場」を創出する協議会等で結婚支援について検討します。	<共助> 検討する	—	—	企画課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
まちづくり集会	小学校・中学校・高校入学の節目になんらかの支援ができないか	節目での支援は考えていませんが、子育てに対する支援については、医療費助成を重点的に行います。	<公助> 実施しない	—	—	企画課
まちづくり集会	奨学金制度で医学部の人が地元就職した場合には返還を免除。子どもの医療環境の充実が必要である。特に小児科医の減少は著しいので、小児科医をはじめ、医師を確保していく施策が必要。	小児科医等の確保については課題と捉えており、今後検討して行きます。	<公助> 検討する	—	○	健康保険課
まちづくり集会	保育料の減免制度を見直せないか。出産で仕事を退職した中で、前年度収入を対象に保育料を決められると生活が苦しい。	子ども・子育て支援新制度における利用者負担については、世帯の所得の状況に応じた応能負担となっている。現在、利用者負担の設定にあたっては、国が定める水準の約7割程度の額で定めています。また、利用者負担の軽減措置として、多子軽減制度やひたっ子にこここ保育支援事業について拡充を行い、子育て世帯の負担軽減を行うこととしています。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	こども未来室
まちづくり集会	3人目以降の子育て費（税や各種料金等）は無料にできないか。	3人目以降の子育て費のうち、教育・保育施設の利用者負担(保育料)について、多子軽減制度やひたっ子にこここ保育支援事業などの軽減策の拡充を検討しています。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	—	—	こども未来室
まちづくり集会	廃校になった学校に日田杉を活用したアスレチック場の整備。子育て環境において、遊び場の確保は重要である。（大型遊具のある遊び場）	市内70箇所の公園施設の中には木製遊具も設置しており、今後は、現在設置している公園の長寿命化を進めながら安全で安心して利用できる公園づくりを進めます。	<公助> 実施しない	—	—	都市整備課
まちづくり集会	耕作放棄地を活用し農業者の増加を図れないか	耕作放棄地を活用し、農業体験等を行うことで、農業に興味を持ってもらうきっかけづくりに努めます。	<共助> 検討する	—	○	農業振興課
まちづくり集会	幼い頃から林業の素晴らしさを伝える仕組みができないか	市民アンケートなどを実施し、保育園や幼稚園、小中学校など年齢に応じた木育プログラムを整理するとともに、木に触れ合う場の提供も検討します。	<共助> 新規事業	○	—	林業振興課
まちづくり集会	起業をサポートするシステムの構築	創業希望者への総合相談窓口を設置するとともに、融資制度の充実を図ります。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	商工労政課
まちづくり集会	日田の水を海外に売る	既に民間企業が取り組んでいます。	実施しない	—	—	商工労政課
まちづくり集会	子どもの事で仕事を休みたい場合があるが、職場の理解が得られないため、休めないという実態があるので、市内企業経営者へ働きかけはできないか。	ホームページや市報への掲載、講演会の開催等によりワーク・ライフ・バランスの啓発に取り組み、働きやすい環境づくりを促します。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	商工労政課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
まちづくり集会	林業、家具、住宅設計士、建築士を育成する専門学校の創出ができないか。	関係機関と連携しながら検討します。しかし、市単独では難しいので、県と十分な連携のもと、可能性を探ります。	<公助> 検討する	—	○	林業振興課 商工労政課